

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S1	施策名	マラソン大会事業の見直し			
担当部課	くらし文化部生涯学習課		関係部課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪				
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市スポーツ推進計画			
	施策開始の背景、経緯等	市の財政負担を軽減するため、事業の有料化(受益者負担)を検討する。				
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 「市民交流(ふれあい)」という側面を強調し、参加料無料のマラソン大会としている。事業の公平性を確保する必要があることから、市の財政負担の軽減及び受益者負担を検討する。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) マラソン大会参加者				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民交流の側面を維持することとし、新たなプログラムの健康づくり事業としてへ転換する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	長久手新春ふれあいマラソン大会の実施				
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		新たなプログラムとして、新春ふれあいジョギングフェスティバルを開催することとなったため、マラソン大会の事業は廃止とした。				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		消耗品費 0千円				
		マラソン大会会場設営委託 0千円				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 1 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	新春ふれあいジョギングフェスティバルの実施				
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		新たなプログラムとして、新春ふれあいジョギングフェスティバルを開催したが、雨のため中止となった。	新春ふれあいジョギングフェスティバルを毎年開催する。	新春ふれあいジョギングフェスティバルを毎年開催する。	新春ふれあいジョギングフェスティバルを毎年開催する。	新春ふれあいジョギングフェスティバルを毎年開催する。
		費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		消耗品費 56千円	消耗品費 146千円	消耗品費 146千円	消耗品費 146千円	消耗品費 146千円
		広告折込手数料 86千円	広告折込手数料 89千円	広告折込手数料 89千円	広告折込手数料 89千円	広告折込手数料 89千円
		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 500 人	(延べ) 550 人	(延べ) 600 人	(延べ) 650 人
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ジブリパークの第1期、第2期及び第3期の開園に伴うパークエリア拡大の影響で、会場の使用が困難である。 実施主体である、スポーツ推進委員は、事業目的を市民交流と考えており、有料化に否定的であるため、あくまでも市民交流を主眼に置いた新たなプログラムの健康づくり事業への転換を図った。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) マラソン大会から新たなプログラムの健康づくり事業への転換について、スポーツ推進委員や指定管理者と協議をし、新しいプログラムのスポーツイベントに見直した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 事業を有料化した場合、必然的に競技性が求められ、タイム計測や参加賞などの付加価値を高める必要がある。有料のマラソン大会は、民間や他市町でも実施されているので、本市は独自の健康づくりイベントとして、受益者負担を伴わないため誰でも楽しめる新たなプログラムの健康づくり事業を進めた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 令和元年度のマラソン大会事業の決算額は1,039千円であり、参加者2,000人で計算すると1人あたりのコストは約500円である。コスト削減を考慮し、事業の有料化を選択せず、市の財政負担を軽減できる新たなプログラムの健康づくり事業を行ったが、雨のため中止となり費用対効果の検証はできていない。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和5年度事業から、新たなプログラムの健康づくり事業へ転換ができたため、この施策評価を終了する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S2	施策名	テニスコート管理事業の見直し		
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ施設整備等基本構想、長久手市スポーツ推進計画			
	施策開始の背景、経緯等	維持管理費に対して使用料収入の割合が少ない。借地に多額の経費が必要であるため、用地の返却や借地料の圧縮について検討する。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 借地の返却や借地料の圧縮を検討し、市の財政負担を軽減する。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 菖蒲池テニスコート			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 将来に渡って財政負担となる借地料を圧縮するため、スポーツの杜再整備に合わせて借地を返還していく。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組① 菖蒲池テニスコート管理事業の見直し									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	令和5年度までは、土地所有者の厚意による無償借地契約で、財政負担を軽減した。土地所有者と令和6年度以降の借地契約について、借地期間を5年、借地料は、課税標準額に伴う変動制として契約した。		土地所有者との契約(5年間)を継続しながら、スポーツの杜への集約について検討する。		土地所有者との契約(5年間)を継続しながら、スポーツの杜への集約について検討する。		土地所有者との契約(5年間)を継続しながら、スポーツの杜への集約について検討する。		土地所有者との契約(5年間)が満了となるため、テニスコートをスポーツの杜へ集約する。	
	費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)	
	-	-	借地料	14,754千円	借地料	14,754千円	借地料	14,754千円	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度においては、土地所有者の厚意により3年間の無償借地契約を締結したが、土地所有者の財政的な理由において、土地使用貸借契約解約申出書の提出があった。 令和4年度に菖蒲池テニスコート改修工事を行い、砂入り人工芝コートにリニューアルした。 令和5年度から市内体育施設等に指定管理者制度を導入し、指定管理者による効果的、効率的な管理運営に取り組んでいる。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 将来的な財政負担軽減に向けて、令和5年度に実施したスポーツの杜再整備検討業務の成果を基に、費用対効果を踏まえつつスポーツの杜へ屋外スポーツ施設の集約化を検討する。 また、土地所有者から令和10年度の借地契約満了に伴い、土地の返還を求められており、早急な判断が必要となっている。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和3年度においては、土地所有者の厚意により3年間の無償借地契約を締結したが、土地所有者の財政的な理由によって、令和4年度に土地使用貸借契約解約申出書の提出があったため、令和6年度から5年間の有償借地契約が満了する令和10年度末までに、スポーツの杜への集約等の代替措置が必要。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 令和3年度から令和5年度までの3年間は無償借地契約により、借地料を年間約1,100万円削減することができたが、令和6年度から5年間は、固定資産税評価額の4.5%である、年間約1,400万円が借地料として必要になる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 菖蒲池テニスコートは市内でも需要が高い施設であり、令和4年度に砂入り人工芝コートへの全面改修工事を行った。スポーツの杜への集約を目指す、スポーツの杜再整備事業の進捗に合わせて、有償借地契約を継続していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S3	施策名	スポーツの杜管理事業の見直し		
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市スポーツ施設整備等基本構想			
	施策開始の背景、経緯等	土日祝日の利用率が約71%に対して、平日の利用率が約22%と低い。また、維持管理に必要な支出に対する収入の割合は、約3.5%である。 敷地がすべて借地であり、毎年多額の経費が必要であるため、公有地化について検討する。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 長期に用地を借用する方針では、契約者とのトラブルや、毎年多額の経費がかかるため、公有地化を進める。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) スポーツの杜			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 用地の取得(公有地化)			

目標・成果推移等①	施策に係る取組① スポーツの杜管理事業の見直し									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	スポーツの杜再整備検討業務を行う。(市民アンケート、団体ヒアリング等)		スポーツの杜再整備基本構想の検討、関係各所への協議		スポーツの杜再整備基本構想の策定、関係各所への調整		スポーツの杜再整備基本設計及び実施設計業務、地権者への用地交渉		スポーツの杜用地購入、再整備工事への準備	
	費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	スポーツの杜借地料	31,775千円	スポーツの杜借地料	21,942千円	スポーツの杜借地料	21,942千円	スポーツの杜借地料	21,942千円	用地購入費	800,000千円
	スポーツの杜再整備検討委託	8,624千円	委託費	未定	委託費	未定	委託費	未定		
	市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	646 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) スポーツの杜の再整備及び屋外施設の集約化に向けた検討を行った方針を決定した。 土地所有者の一部においては、過去に公有地化に否定的な意見もあったが、現在は寛容的になっている。 令和5年度は、スポーツの杜再整備検討業務を発注し、市民アンケート、団体ヒアリング等で市民ニーズを把握した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 過去の借地契約期間は5年間であったが、公有地化の時期も未定であり、再整備の状況を土地所有者へ情報提供するため、令和6年度以降の借地契約を、1年更新とした。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和5年度は、スポーツの杜再整備検討業務を発注し、市民アンケート、団体ヒアリング等で市民ニーズを把握した。令和6年度以降の借地契約は、公有地化の時期も未定であり、再整備の状況を土地所有者へ情報提供するため、5年間を変更し、1年更新とした。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 公有地化は、一時的に多額の取得費用が必要となるが、長期的な視点を持つことで将来的には投資したコストを回収することができる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和6年度は、スポーツの杜再整備検討業務の結果を基に、総合運動公園としての再整備及び屋外スポーツ施設の集約化に向けた検討を行う。 また、土地所有者へ、市の方針及び再整備の状況等について、少なくとも契約更新に合わせて情報提供していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S9	施策名	児童遊園等管理事業の見直し		
担当部課	建設部みどりの推進課	関係部課	子ども未来課		

基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち			
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	無			
	施策開始の背景、経緯等	現在借地料として年間3,985,178円の支払いをしている児童遊園について、利用率等により必要性を再検討するため。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 各児童遊園の必要性を再検討し、借地の返却、購入等を行う。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 児童、児童遊園			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 必要性の低い児童遊園を撤廃し、児童遊園に係る借地料や管理費を削減する。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		児童遊園の統廃合							
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	地元自治会や近隣住民への協議を行った結果、大草東児童遊園の愛護会発足に伴う剪定回数の削減(R6年度の状況をみて変更対応)することで、廃止しないこととした。		大草東児童遊園の施設の必要性について地元協議を進め、更なる費用削減を目指す。							
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	児童遊園借地料	3,986千円	児童遊園借地料	3,986千円						
	除草・剪定等委託 トイレ等清掃委託	3,532千円	除草・剪定等委託 トイレ等清掃委託	3,357千円						
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 13 人		(延べ) 20 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和5年度には、大草東児童遊園の廃止について地元自治会と協議を行い、地元住民を対象としたアンケートを実施した結果、存続の意向が強い結果であった。その後も粘り強く地元自治会と協議した結果、愛護会発足に伴う剪定回数の削減(R6年度の状況をみて変更対応)(5回:229,925円→3回:137,955円)想定削減額:91,970円ー愛護会報償費:15,700円=76,270円)することで、廃止しないこととした。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 利用率が低く廃止予定の児童遊園を地域住民の積極的な関与と維持管理費の減少が見込めるようになった。しかしながら、アンケート結果を見ると利用頻度の低さや、子育て世代の積極的な利用も見受けられなかったため、令和6年度は児童遊園施設の精査を地元自治会と進め、更なる管理費の削減を目指す。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 大草東児童遊園については、廃止に係る維持管理料全体の削減には至らなかったが、地元関与が無かった園の地域住民の愛着醸成のきっかけとなり、愛護会活動につながった。 地元自治会の代表者には、令和6年度に児童遊園施設の精査を進める旨調整済み。今後地元住民に対し、現在の利活用状況と既存施設とのギャップを解消することで、不要な児童遊園施設を洗い出し、精査を進めて行く。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 大草東児童遊園については、除草及び剪定等の委託回数を減らすことで、維持管理費の削減が見込める。また、令和6年度には児童遊園施設の精査を進めることで、更なる維持管理費の削減を図る。 【遊具等を精査した場合の削減額】 トイレ(清掃費):77千円 ジャングルジム、パーゴラ(保守点検費):22千円
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 大草東児童遊園の児童遊園施設の精査を地元自治会と進め、更なる管理費の削減を目指す。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S5	施策名	保育園の民営化
担当部課	子ども部子ども未来課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 第2期 長久手市子ども・子育て支援事業計画
	施策開始の背景、経緯等	女性就業率の拡大等による保育園の需要の拡大に対応するため、保育施設の新設や拡充により対応しているが、年々保育園費が増加している。

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 保育園費は、待機児童として保育施設を増やしていることから大幅に増加している。中でも公立保育園の運営費は、すべて市の負担となるが、民営保育園は国が2分の1、県が4分の1を負担しているため、財政負担の軽減のため必要となっている。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 公立保育園
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 保育施設の民営化に伴う運営費や整備費の抑制

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	保育園の民営化								
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標				
		小規模保育所の開園、新設民設民営保育所の開園準備	新設民設民営保育所の開園	新設民設民営保育所への指導助言	長湫東保育園の閉園	保育施設の整備計画の見直し				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)				
		保育施設整備交付金	390,000千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人			

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人			

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 長湫東保育園の移転場所について、複数箇所の検討を行ったが、現在の長湫東保育園の近隣で、同等の広さや機能を維持できる場所はなかった。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 長湫東保育園の移転については、場所、費用面から困難であるため、令和8年度末に閉園し、代わりの受け皿として令和6年度に新設民設民営保育所を2箇所整備した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 新設民設民営保育所による適正な保育実施のための指導助言
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 保育園は民営となると給付費が国、県から3/4補助されるため、費用的な効果がある。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後の保育需要等について検討しながら保育所整備計画の改定の必要性について検討していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S5	施策名	放課後児童健全育成事業の民間活用及び類似事業との整理			
担当部課	子ども部子ども未来課	関係部課				

基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち				
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 第2期 長久手市子ども・子育て支援事業計画				
	施策開始の背景、経緯等	放課後の居場所に関する事業については、利用ニーズが増加傾向かつ多様化しており、市が全てのニーズに直接対応することは困難になってきているため、民間資源や市民を活用した運営の取り入れを検討する。				

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ・民間事業者を活用した放課後児童クラブの運営 ・学童保育所において、保護者会以外の運営形態の検討 ・放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化の検討			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)及び利用者			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の居場所事業における民間事業者の活用及び事業統合			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①										民間事業者を活用した放課後児童クラブ等の運営									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	新・放課後子どもプラン 民間事業者の選定		民営事業者による事業の実施																	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし		児童クラブ等民間委託 190,000千円																	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み																	
	(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②										放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化の検討									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施		学区を限定した新・放課後子どもプランの実施	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし		児童クラブ等民間委託 190,000千円		児童クラブ等民間委託 190,000千円		児童クラブ等民間委託 190,000千円		児童クラブ等民間委託 190,000千円		児童クラブ等民間委託 190,000千円									
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み									
	(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人		(延べ) — 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・放課後の児童の居場所等の類似事業を整理し、新・放課後子どもプランの全校区の実現に向けた検討を行った。 ・放課後の児童の居場所事業については、児童クラブ9か所、学童保育4か所(8施設運営)、放課後子ども教室4か所、待機児童が多い学区では児童館下校を実施している。 ・学童保育所保護者会との意見交換会において、今後の交換会にて、保護者会以外の運営形態の検討を話し合いたい旨の投げかけを行った。			
------	---------	---	--	--	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 放課後の児童の居場所事業について、放課後の預かり事業(児童クラブ、学童保育所)においては、市民ニーズが多様化していることと、事業の実施場所や人材確保が困難であるため、現在の運営形態のままでは拡充が難しい。また各事業の違いが分かりにくいことから、放課後子ども教室においては、本来の目的ではない利用者が一定数発生している。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 待機児童が発生する中で、児童数の増加が見込まれる小学校区や、共働き世帯の増加も見込まれるなど、今後もニーズは増加傾向が続くと予測しているため、受入数の拡充が必要である。また、実施事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の違いが市民には分かりにくいという課題があるため、分かりやすく利用しやすい事業への改善が必要である。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 既存の事業を整理を行うと共に民間事業者による運営により、児童の居場所の確保に限らず、利用者のニーズに対応できる柔軟なサービスが期待できる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・民間事業者を活用し新・放課後子どもプランに基づく一体型運営を全校区での実現を図る。 ・学童保育所において、保護者会以外の運営形態の検討や児童クラブとの利用料の平準化について調整を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S8	施策名	地域集会所の利用方法や所有形態の見直し		
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち			
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	無			
	施策開始の背景、経緯等	集会所を管理している一部の自治会が弱体化してきており、効率的に使用されていない集会所がある。また、地域共生ステーションと利用形態の重複がある。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 地域ごとの実情に合わせた集会所の有効活用を行い、世代間や地域のつながりの強化を図る。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) まちづくり協議会、自治会、地域共生ステーション、集会所			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 世代間や地域のつながりを強化する。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域集会所の利用実態調査								
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標				
		市政協力員に対して、地域集会所の利用実態の調査に係るアンケートを実施した。	利活用方法の検討	利活用方法の検討	利活用方法の検討	地域ごとの特色に応じた集会所の利用				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)				
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み				
		(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人				

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み				
		(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人	(延べ) ー 人				

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和5年度に集会所の利用実態に関するアンケート調査を実施した結果、集会所ごとに利用率の高低の差があることが判明した。

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 集会所の管理運営は、それぞれの自治会等に任せており、利用実態が明らかではなかったが、今回の調査で、地域ごとの差があることを明らかにできた。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 今後の集会所の活用方法を検討するための基礎データを収集することができた。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) アンケート調査は、委託等の費用をかけず実施したため、費用は発生していない。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後は、地域ごとに集会所の活用方法についてヒアリングを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S9	施策名	老人憩の家の利活用と管理方法の見直し		
担当部課	福祉部長寿課		関係部課	財政課、たつせがある課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち			
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大			
	法定受託事務の有無	無			
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市老人憩の家の設置及び管理に関する条例、同施行規則			
	施策開始の背景、経緯等	施設の老朽化が進む中で、使用頻度が少ない地域や近接する地域集会所との利用の棲み分けができておらず、有効活用を検討する必要性が生じている。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市内に7カ所ある老人憩の家は、高齢者の心身の健康増進を目的に整備されたが、対象者が限定的であり、使用頻度が低い箇所もあることから、多世代が多様な目的に利用できる地域の交流の場として活用することができるようにする。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 「65歳以上の高齢者」以外の世代、老人憩の家			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多世代が多目的に利用することができる地域の交流の場とし、施設の稼働率を向上させる。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①										地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、施設維持管理費の削減、利用率の拡大									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)		R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	R3年度の公共施設マネジメント推進会議の結論により、ソフト面での有効活用方針の検討																			
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②										(この表は削除されています)									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)		R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	R3年度の公共施設マネジメント推進会議の結論により、ソフト面での有効活用方針の検討																			
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)							
	特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし		特になし	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 若老人憩の家と打越集会所が隣接しているため、憩の家管理者(シニアクラブ代表者)と集会所管理者(自治会長)と担当課(財政課、たつせがある課、長寿課)により、双方の有効活用及び統廃合に関する意見交換を行ったが、両当事者から相互の有効活用に対して前向きな意見が得られなかった。また、いずれも維持管理コストが小さいことから、統廃合によるコストメリットは見いだせなかった。このため、令和3年度公共施設マネジメント推進会議にて統廃合は困難と結論により、今後は担当課にて有効活用の検討を行うことに決まった。			
------	---------	--	--	--	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) いずれの憩の家においても、コロナ禍により定員や行為制限を設けた中での運用をしていたことから、具体的な有効活用の検討が難しい状況であった。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 駐車場が十分に確保されている施設がなく、利用を呼びかける対象範囲が限定的となる。老人憩の家の管理を委託し日常的に使用しているシニアクラブとの意見交換が必要となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 隣接する憩の家と集会所の統廃合について検討したが、いずれも維持管理コストが小さいことから、改修や解体にかかるコストが大きく、コストメリットはあまり得られないと思われる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 各老人憩の家の管理者(シニアクラブ代表者)に対して、ソフト面を中心とした有効活用策の聞き取りを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S10	施策名	高齢者の福祉事業、優待事業の見直し				
担当部課	福祉部長寿課		関係部課				

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち					
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進					
	法定受託事務の有無	無					
	その他（関係計画、要綱等）	有 高齢者外出促進事業実施要綱、あったかあど交付要綱等					
	施策開始の背景、経緯等	利用者の偏りが見られる事業がある。 市民主体の事業へ移行する必要がある。					

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 事業の統廃合や事業主体の見直しを行う。					
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 高齢者外出促進事業、敬老事業、長生学園事業					
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民協働の拡大を推進する。					

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		福祉事業の見直し							
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	改正内容の実施 長生学園及び敬老事業催事の合同実施		長生学園及び敬老事業開催検討		長生学園及び敬老事業開催検討		長生学園及び敬老事業開催検討		長生学園及び敬老事業開催検討	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	敬老事業	3,791千円	敬老事業	4,344千円	敬老事業	4,344千円	敬老事業	4,344千円	敬老事業	4,344千円
	長生学園事業	67千円	長生学園事業	466千円	長生学園事業	466千円	長生学園事業	466千円	長生学園事業	466千円
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	15 人	(延べ)	15 人	(延べ)	15 人	(延べ)	15 人	(延べ)	15 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②		優待事業の見直し							
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	改正内容の実施		改正内容の実施		改正内容の実施		改正内容の実施		改正内容の実施	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	高齢者外出促進事業	4,924千円	高齢者外出促進事業	5,920千円	高齢者外出促進事業	5,929千円	高齢者外出促進事業	5,920千円	高齢者外出促進事業	5,920千円
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 高齢者外出促進事業に一环として実施している運転免許証自主返納時のマナカチャージ券5,000円分またはN-バス回数券6,600円分の選択制としている。					
------	---------	--	--	--	--	--	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 令和2年度をもって、利用者の固定化や減少がみられる文化施設優待事業を廃止した。 また、敬老事業について、幅広い利用が可能となるように、ござらっせ入泉券から5枚綴りの金券へ変更した。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 長生学園事業を敬老事業の催事と合同実施したが、来年度以降については、長生学園事業をどのように開催するかまたは廃止するか実行委員会で検討していく必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) サービス利用者数や行事参加による実績値は把握できるが、利用による効果の測定ができていない。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) コロナ禍が第5類となり、3年ぶりに敬老事業と長生学園事業の催事を開催することとなったが、長生学園事業については、実行委員会のメンバーが集まらず敬老事業の催事の手伝いをし開催とすることとなった。今後は長生学園事業の在り方について検討していく必要がある。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S11	施策名	ごみの減量化			
担当部課	くらし文化部環境課		関係部課	教育総務課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物				
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	一般廃棄物処理基本計画			
	施策開始の背景、経緯等	近年、もえるごみが増加し、資源化率が低下傾向にあること、また尾張東部衛生組合晴丘センターが今後更新工事を控えており、ごみの減量化が必要となっている。				
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市民のごみ分別意識を向上し、ごみの減量化及び資源化率の向上を目指す。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) もえるごみ				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 1人1日あたりのもえるごみの量を減量したい。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	ごみの減量啓発				
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・「ながくてごみ減量化通信」を毎月発行、自治会回覧 ・小学校で環境教育(ペットボトル水平リサイクル)を開催 ・CATVで特集「ながくてECOスタイル」を定期放映	・「ながくてごみ減量化通信」を毎月発行、自治会回覧 ・小学校で環境教育(ペットボトル水平リサイクル)を開催 ・CATVで特集「ながくてECOスタイル」を隔月放映	・「ながくてごみ減量化通信」を毎月発行、自治会回覧 ・小学校で環境教育(ペットボトル水平リサイクル)を開催 ・CATVで特集「ながくてECOスタイル」を隔月放映	・広報、ホームページ、回覧、アプリ、CATV、SNSなど様々な媒体でごみ減量を啓発 ・ごみ分別出前講座開催	・広報、ホームページ、回覧、アプリ、CATV、SNSなど様々な媒体でごみ減量を啓発 ・ごみ分別出前講座開催
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	広報折込手数料 88千円	広報折込手数料 88千円	広報折込手数料 88千円	広報折込手数料 88千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 200 人	(延べ) 400 人	(延べ) 400 人	(延べ) 400 人	(延べ) 400 人
	目標・成果推移等②	施策に係る取組②	ごみの減量対策			
			R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・ペットボトル水平リサイクル事業開始 ・地域が管理運営するミニエコステーション募集及び設置	・ごみ減量検証 ・プラスチック一括回収検討	・ごみ減量検証 ・プラスチック一括回収検討	・目標達成なら検証継続、未達成ならもえるごみ袋増額 ・プラスチック一括回収準備	・目標達成なら検証継続、未達成ならもえるごみ袋増額 ・プラスチック一括回収開始
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		資源回収拠点管理委託 264千円	資源回収拠点管理委託 264千円	特になし	特になし	ごみ収集及び運搬委託 未定 プラスチック処理手数料 19,250千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人
活動状況		活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和5年度は、令和6年度から10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画を策定したほか、リユースメニューとしてジモティー及びおいくらと連携を開始したことにより市民が直接エコハウスに来なくてもネット上でやり取りできるようになった。			

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 啓発については、これまで広報やホームページを中心にしてきたが、回覧やアプリ、CATV、SNSなど啓発媒体を増やすことで少しでも市民の目に触れる工夫をしてきた。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) R5実施のもえるごみ組成調査で、もえるごみ袋の中にもえるごみ以外のものが全体の約30%を占めており、市民のごみの分別意識の変革が必要。市民に対して広報や説明会、出前講座等で啓発を促していくほか、ごみ減量施策を実施することでごみ減量や資源化意識を高める必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ごみ処理には多額の費用がかかっており、ごみを減量することでその費用を抑えられる。また、ごみ減量により処理施設にかかる負荷を抑え、施設の延命化につなげることができる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 市民のごみ減量意識や分別意識を高め、ごみ減量目標を達成するため、令和4年度に策定した「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」の17の取組や、令和5年度に策定した長久手市一般廃棄物処理基本計画に位置づける施策を進め、毎年度ごみの減量状況を確認する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S12	施策名	下水道事業の見直し(抑制)			
担当部課	建設部下水道課		関係部課	財政課、環境課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち				
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市公共下水道事業計画			
	施策開始の背景、経緯等	公共下水道の役割である「公衆衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」を持続させるため、下水道使用料を検討する必要性が生じた。 市の財政を考慮し、市街化調整区域の整備規模を調整する必要性が生じた。				
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 下水道使用料の見直し 市街化調整区域における下水道整備方針の見直し				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 下水道使用料及び市街化調整区域における下水道整備方針				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 計画的な下水道の整備により、生活環境に寄与する。持続可能な下水道事業の経営				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	市街化調整区域における下水道整備の見直しの検討				
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人
	目標・成果推移等②	施策に係る取組②	下水道使用料の見直しの検討			
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		使用料改定の方針決定	使用料改定案の周知 使用料徴収システム変更	新使用料制度による下水道使用料徴収を開始	実施	実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
			下水道使用料システム委託 2,772千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人
活動状況		活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 長久手市下水道事業検討委員会を令和3年度から令和4年度に3回開催した。 下水道使用料改定について市長公室及び総務部と協議を行った。			

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 長久手市下水道事業の安定的かつ持続可能な事業運営
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 「下水道使用料改定」及び「市街化調整区域における下水道整備方針の見直し」について周知を図る。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 長久手市下水道事業検討委員会において「下水道使用料改定」及び「市街化調整区域における下水道整備方針の見直し」について統一見解を示した。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 「下水道使用料改定」及び「市街化調整区域における下水道整備方針の見直し」について周知を図る。また合併浄化槽設置にかかる補助金について制度設計を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S15	施策名	学校プール開放事業の見直し		
担当部課	教育部教育総務課		関係部課		

基本情報	第6次総合計画・基本目標	—			
	行政改革指針・重点課題	—			
	法定受託事務の有無	無			
	その他(関係計画、要綱等)	無			
	施策開始の背景、経緯等	小中学校のプール施設には、年間の維持管理と老朽化による改修の経費が必要であるため、施設のあり方を学校外施設を含めて検討を行う。併せて、教員の負担軽減を図る。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 学校の水泳授業に、学校外施設の使用及び指導員の委託をすることを試行し、維持管理費及び学習指導上の効果、課題等を研究する。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 学校のプール施設並びに児童生徒及び教職員			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 学校外のプール施設利用及び指導の委託による効果と課題を抽出し、学校プール施設の在り方を研究する。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組① 学校外プール施設利用及び外部指導員による研究									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	R4年度に実施した同小学校1校で試行を行い、維持管理費、効果、課題等を継続して研究する。		R5年度に実施した成果を踏まえ、対象校を拡大する。		R6年度に実施した成果を踏まえ、対象校を3校に拡大する。		R7年度に実施した成果を踏まえ、対象校を拡大する。		対象校を全校に拡大する。	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	プール指導委託	4,712千円	プール指導委託	4,712千円	プール指導委託	22,859千円	プール指導委託	—	プール指導委託	—
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 9校の学校プール施設のうち7校は、建設から30年以上が経過し、大規模改修の時期を迎えている。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 学校プールの維持管理費と、学校外施設利用及び指導員委託による学習指導上の効果、課題を研究する。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和4年度、令和5年度に学校外施設利用の実績を踏まえ、民間施設利用及び指導員委託の対象校を拡大する。近隣で委託先となりえる民間施設は限られている。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 学校の水泳授業にを学校外施設の使用及び指導員の委託をすることで、施設の維持管理費の削減が図られる。また、生徒には学習指導上の効果があり、教職員の負担軽減にも繋がる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 学校プールの維持管理費、学校外施設利用及び指導員委託による学習指導上の課題の研究結果から、対象校を拡大する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S16	施策名	総合計画の推進		
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課		

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営			
	行政改革指針・重点課題	—			
	法定受託事務の有無	無			
	その他（関係計画、要綱等）	有	長久手市みんなで作るまち条例、長久手市総合計画審議会条例		
	施策開始の背景、経緯等	総合計画については、地方自治法による法的な策定根拠は無くなったが、まちづくりの課題は多様化しており、従来以上に総合的かつ計画的に市政運営を図ることの重要性が高まっていることから、継続して総合計画を策定している。2018年7月に施行した「長久手市みんなで作るまち条例」で、策定根拠と議決要件が明記されている。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 総合的かつ計画的な行財政運営を図るため、多くの市民に関わっていただきながら、総合計画を策定し推進する。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) ・市職員 ・市民			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・(市職員)総合計画に基づき長期的視点に立って事業を推進するとともに、市民と行政が協働する市民主体にまちづくりを目指す。 ・(市民)まちづくりの担い手として、意識を持ち主体的にまちづくり活動に携わっていただく。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	第6次総合計画の策定・推進							
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)			
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
		アクションプランの見直し (後期アクションプランの策定)	アクションプランの進捗管理	アクションプランの進捗管理	総合計画の改定にかかる基礎調査の実施	第7次総合計画の策定			
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)			
		特になし	特になし	特になし	基礎調査業務委託 2,000千円	総合計画策定業務委託 5,000千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 2,000 人	(延べ) 100 人			

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	市民まちづくり計画の推進							
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)			
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
		市民まちづくり計画交流会の実施 市民まちづくり計画推進の見直し	— (市民活動を一体的に推進)	—	—	—			
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)			
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 21 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人			

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 総合計画の推進では、前期アクションプランの進捗状況等の確認等により必要な点を全面的に見直し、令和6年度から5年間の後期アクションプランを策定した。 市民まちづくり計画では、コロナ禍を経て4年ぶりに、新たな協働のきっかけや、活動の後押しとなる機会とするため交流会を実施した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 市内には、市民まちづくり計画に掲載されている10のアクションの他にも、様々な市民団体が活動しており、市民アクションを単独で推進していくのではなく、一体的に支援していくことで、団体同士の交流を深めつながりをつくることできる等、更なる市民活動の促進に繋がるため、市民まちづくり計画については市民協働を担当している地域共生推進課に移管することとなった。今後とも市民と行政が協働する市民主体のまちづくり推進に向け、市民主体の活動を促していく。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 市民意識調査では、前回調査と比べて地域共生ステーションやまちづくり協議会の認知度が向上していたものの、コロナ禍の影響を大きく受け、地域活動への参加に関するポイントが低下した。コロナ禍以降の市民意識や行動の変化に注視するとともに、市民活動の促進が課題となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 総合計画は市全体の目標を定めるものであり、具体的な効果について示すことは難しいが、基本構想・基本計画の実現に効果的な事業を選択し、市全体の効率化を図る。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和5年度に策定した後期アクションプランや市民まちづくり計画を通じて、引き続き市民主体のまちづくりに取り組んでいく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S17	施策名	自治体間連携の推進（広域行政制度の活用、広域の利点を生かした連携の推進）		
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課		

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営			
	行政改革指針・重点課題	3 自治体間連携の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他（関係計画、要綱等）	有	尾三地区自治体間連携協定		
	施策開始の背景、経緯等	市の持つ経営資源（人、物、カネ、情報）は限られており、すべてのニーズに応えるフルセットの行政サービスの提供は難しく、自治体間競争ではなく連携による行政サービスの提供が必要である。			

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 各市町の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携することにより、地域社会の持続的な発展、地域課題への対応及び地域交流の活性化が図られる。			
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 各自治体の業務全般			
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 各自治体が処理する事務手続きの共同化による事務負担の軽減、業務の標準化及びサービスの質の向上			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	業務の共同実施、効率化							
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)			
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
		広域連携・共同実施事業の増加	広域連携・共同実施事業の増加	広域連携・共同実施事業の増加	広域連携・共同実施事業の増加	広域連携・共同実施事業の増加			
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)			
		尾三地区自治体間連携推進会議負担金 0千円	尾三地区自治体間連携推進会議負担金 10千円	尾三地区自治体間連携推進会議負担金 10千円	尾三地区自治体間連携推進会議負担金 10千円	尾三地区自治体間連携推進会議負担金 10千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人			

目標・成果推移等②	施策に係る取組②								
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)			
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人			

活動状況	活動エピソード	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 平成28年1月に、日進市、みよし市、東郷町、豊明市、長久手市で尾三地区自治体間連携協定を締結した。これまでに、航空写真撮影、職員派遣交流事業、介護保険事業所の指定、指導監督事務などを共同実施している。			
------	---------	--	--	--	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 共同実施事業の検討テーマのうち、独自に事業を進めている本市を除く4市町が、スクールロイヤーの共同設置に係る協定を令和5年2月に締結し、同年4月より運用開始となった。令和5年度には新たに4件のテーマを加え、検討を進めることになった。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 平成27年度以降、各市町の共同実施について協議を重ねており、各市町の事務処理方法、更新時期、費用も様々であるため、共同実施できる事業が減少している。しかし、各市町の財政負担が増加しつつある中、共同実施でメリットが生まれる事業の発掘が必要である。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 本市が連携する事業については、目に見える費用対効果の実績はあまり無い。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 毎年、連携事業の掘り起こしを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S18	施策名	横断的な事務の推進(組織の連携改善、各種窓口での連携強化)			
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	5 横断的な事務の推進(連携改善)				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市部設置条例、同条例施行規則			
	施策開始の背景、経緯等	横断的な事務の推進のため、適宜、組織編成や事務分掌の見直しを行っている。				

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 効率的な市政運営のため、組織の連携改善や事務分掌の見直しを行うことにより、組織の再編等を含め、市役所業務全般の最適化を目指す。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市役所業務全般				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 組織の連携改善や事務分掌の見直しにより、事務の効率化や費用の軽減等を図る。				

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	組織の再編									
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直しや連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直しや連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直しや連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直しや連携強化を図る。	社会環境や施策に応じた、組織の事務分掌の見直しや連携強化を図る。					
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)					
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし					
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み					
		(延べ) 0 人									

目標・成果推移等②	施策に係る取組②										
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)					
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標					
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)					
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み					
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人					

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度には生涯学習課と文化の家の統合、令和5年度には福祉の家公民連携推進室の設置、令和6年度には子ども政策課、福祉政策課、観光商工課の新設など、状況に応じて適宜組織の見直しを行っている。				
------	---------	---	--	--	--	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 重複している業務の統合や、重点的施策を実施するため組織の見直しを行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 部、課毎の業務内容、事務量を確認し、社会課題に対応した組織とする必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 直接的な数値で費用対効果を測ることは難しいが、重複する事務の解消や所属ごとの事務量に見合った人員配置により業務の効率化を行うことで、組織全体の経費削減につながると考える。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 効率的な行政運営や重点的な施策推進体制を見据え、適宜、組織の見直しを行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S19	施策名	職員の現場志向の向上	
担当部課	市長公室人事課		関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営		
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		
	法定受託事務の有無	無		
	その他（関係計画、要綱等）	有	行政改革指針改訂版	
	施策開始の背景、経緯等	これからの超高齢・人口減少社会に対応するには、市民にもまちづくりの一員として役割を担ってもらう必要があるため、職員が地域に出かけ、地域を深く知ったり、市民同士をつなげる役割を担ったりすることにより、市民主体の取り組みを支えていく必要がある。		

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 職員が地域に出て、多様な市民と対話を積極的に行い、地域の課題を把握することにより、市民自らが地域の課題を解決することを支援し、市民同士をつなげる能力を向上させるための人材育成に取り組む。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員に「まち全体が職場だ」という意識が根付いている。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	まちに出る研修の実施				
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		まちに出る研修の実施(16人)	まちに出る研修の実施	まちに出る研修の実施	まちに出る研修の実施	まちに出る研修の実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		-	-	-	-	-
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	スキルアップのための研修の実施				
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		市長との面談 16人 折衝力・交渉力向上研修 3人 ロジカルシンキング研修 1人 アンコンシャスバイアス研修22人 コーチング研修53人	スキルアップのための研修の実施	スキルアップのための研修の実施	スキルアップのための研修の実施	スキルアップのための研修の実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		研修会等講師謝礼 0千円	研修会等講師謝礼 0千円			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人	(延べ) - 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 人事研修のほか、地域共生社会の実現に向け、重層的支援体制の整備のため、地域共生推進課の職員が、担当の地域を拠点に業務に取り組んだ。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 地域共生推進課について、5名の職員が、拠点となる担当地域を持ち、業務にあたっている。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 人事研修だけで十分とはならない。日頃から業務の中におけるOJTも必要。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 育成の状況は、数値として表しにくいですが、研修アンケートでの満足度等は高めである。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 本務以外に目を向ける余裕ができるよう引き続き、業務の見直し始め、働き方改革に取り組む。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S21	施策名	受益者負担の適正化		
担当部課	総務部財政課		関係部課	施設管理課等	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営			
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進			
	法定受託事務の有無	無			
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市使用料及び手数料条例			
	施策開始の背景、経緯等	これまで、使用料および手数料は消費税率引き上げに伴う見直ししかしておらず、社会情勢の変化に対応した見直しができなかったため、統一的な基準を作成し、料金の見直しを行う。			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 経費算定の統一的な基準を作成し、施設使用料や行政サービス手数料の見直しを行う。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 施設や行政サービスの利用者			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 運営経費に見合った使用料や手数料の算定を行い、受益者負担の適正化を図る。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	見直し後の使用料・手数料を施行した。		見直し後の使用料・手数料を施行する。		見直し後の使用料・手数料を施行する。		次回令和9年度の使用料・手数料の見直しに向け、現状を整理する。		使用料・手数料条例の改正議案を提出する。(5年に一度の見直しを標準化)	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし		特になし		特になし		特になし		特になし	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人		(延べ) 0 人	

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 使用料及び手数料条例等を改正し、令和4年4月1日から新しい料金体系を施行した。他市町の見直し時期を参考に、5年に一度の見直しを実施することとした。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 使用料・手数料の見直しを行い、最大で1.5倍の料金改定を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 受益者負担の適正化は、使用料・手数料の歳入だけの見直しのみではなく、歳出の見直しも必要となる。施設の維持管理経費の縮減や、施設の運用方法の見直しなど、FM(ファシリティマネジメント)の推進も併せて取り組む。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 使用料・手数料の見直しにより、歳入の増加が見込める。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 5年に一度の周期で使用料及び手数料の見直しを行う(次回は令和9年4月1日から新料金体系施行)。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S22	施策名	公共施設等総合管理計画(公共FM)の運用			
担当部課	総務部財政課		関係部課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市公共施設等総合管理計画、公共施設個別施設計画				
	施策開始の背景、経緯等	我が国では、高度経済成長期に建設された多くの公共施設等が老朽化し、一斉に更新時期を迎えている。今後、公共施設等の維持補修・更新のための財源を確保することは困難な可能性がある。このような中、国は平成28年度末までに、全ての地方公共団体に対して公共施設の点検等を実施した上で適切な措置を講じるための総合管理計画の策定要請を行った。これを受け本市では平成29年3月に「長久手市公共施設等総合管理計画」を策定した。				

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指し、機能の複合化等の検討などによりトータルコストを縮減、財政負担を平準化するため、庁内の検討体制(FM推進会議、作業部会)を確立し、問題解決にあたる。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 公共施設			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公共施設の適正配置や機能複合化、計画的な修繕により、コストの削減・平準化をはかる。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	公共施設再配置計画の策定							
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)			
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
		FM作業部会に主な施設管理課を委員として招集し、公共施設の実情の把握や、利用者人数等の調査を行った。	FM作業部会にて、再配置計画を協議・検討のうえ庁内方針を決定する。	市民アンケートやヒアリング等を実施して、庁内方針に市民の意見を取り入れた計画方針を決定する。	決定した計画方針に基づいて計画を策定する。	策定した計画に基づき、公共施設を適切に再配置していく。			
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)			
		特になし	特になし	公共施設再配置計画策定業務委託 7,708千円	公共施設再配置計画策定業務委託 7,708千円	特になし			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 60 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人			

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	公共施設の最適化(あまり使われていない施設の活用方法を検討し、効率的に活用していく)							
		R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)			
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
		旧児童福祉センターの活用について、全課等に照会の上作業部会で検討し、当面の間は市の事務施設として活用することとした。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。	活用頻度の低い施設について担当課で有効活用を検討し、会議に諮る。また類似した施設の削減を検討する。			
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)			
		特になし	未定	未定	未定	未定			
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み			
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人			

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 公共施設等総合管理計画を運用すべく、横断的な組織である公共施設マネジメント推進会議、作業部会を設置して公共施設の様々な問題解決を検討実施している。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 営繕系の建築工事の支援拡大により、設計・工事監理について、建築工事のレベルアップをはかると共に、修繕計画の適切な管理を行う。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 各施設の修繕枠や大規模修繕の予算配分は、横断的な組織で検討し、全体のバランスを図りながら、中期的な財政計画と関連づけることができた。今後、営繕系の建築工事への支援拡大に伴い、より適切な建築工事の実施と担当課のレベルアップを図る。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 本市における全公共施設の維持管理費は、今後30年の推計で合計950億円になる見込みだが、公共施設の維持管理更新を計画的に運用することで、財政負担の平準化、軽減を行う。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 公共施設マネジメント推進会議、作業部会を毎年定期的を開催し、問題の抽出、検討、解決策の実施を行っていく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S23	施策名	中期財政計画の推進			
担当部課	総務部財政課		関係部課	全課		

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市中期財政計画、総合計画、行政改革指針				
	施策開始の背景、経緯等	毎年度、今後5年間の財政見通しを立て、持続可能な予算編成を行うための指針となる中期財政計画を策定する。				

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 今後5年間の財政見通しを立て、財源不足額に対する対策や、地方債・基金の残高管理を行い、持続可能な財政運営を確保する。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市の財政運営			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事業を切れ目なく実施し、持続可能な財政運営を行う。			

目標・成果推移等①	中期財政計画の推進									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	長期財政計画の時点修正を行うため、中期財政計画を策定し、計画的な財政運営を行った。		歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。		歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。		歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。		歳入歳出の推計に基づき、経常経費の削減や政策的な事業の見直しを検討する。	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし		特になし		特になし		特になし		特になし	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

目標・成果推移等②	中期財政計画の推進									
	R5年度 (2023)		R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		中期 (おおよそ3年後)		長期 (おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人		(延べ) 人	

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度に策定した長期財政計画の時点修正を行うため、中期財政計画を策定し、今後の収支の見通しや、実施が想定される庁舎整備などの大規模な事業の財源についてシミュレーションを行った。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 令和6年度予算編成や事業総点検による削減目標を反映して既存の財政計画の見直しを行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) アクションプランに基づく政策的な事業や、個別施設計画に基づく既存公共施設の更新・改修の費用を盛り込んだ中期財政計画とした。今後、計画的に大規模事業を実施していく必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 直接の事業費はないが、今後、より効果的な展開となるよう継続的な見直しを行っていく。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 引き続き、中期財政計画を元に、健全な財政運営を維持していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S24	施策名	協働事業の拡大（地域組織への委託、事業主体の確認、市民、市行政、大学、民間の連携拡大）		
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち			
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大			
	法定受託事務の有無	無			
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市地域協働計画、長久手市大学連携推進ビジョン4U、リモテラス公益施設（仮称）整備基本計画			
	施策開始の背景、経緯等	市民主体のまちづくりの実現に向けて、市民や市内大学との協働を進めている			

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) (1)地域組織への委託、事業主体の確認 (2)市民、市行政、大学、民間の連携拡大			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民全般			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民がまちづくりに関わることで、自ら地域の課題に目を向け、自分たちで地域の課題解決を図ることを目指す			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大		協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大		協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大		協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大		協働まちづくり活動補助金を活用した、市と市民団体の協働事業の拡大	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	協働補助金及びNPO補助金		協働補助金及びNPO補助金	1,050千円	協働補助金及びNPO補助金	1,050千円	協働補助金及びNPO補助金	1,050千円	協働補助金及びNPO補助金	1,050千円
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	- 人	(延べ)	- 人	(延べ)	- 人	(延べ)	- 人	(延べ)	- 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	市民、市行政、大学、民間の連携拡大									
	R5年度(2023)		R6年度(2024)		R7年度(2025)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	リモテラス公益施設の管理運営 リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理者選定		リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理		リモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の一体的な指定管理	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	リモテラス公益施設指定管理料	23,000千円	リモテラス指定管理料	39,000千円	リモテラス指定管理料	39,000千円	リモテラス指定管理料	39,000千円	リモテラス指定管理料	39,000千円
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	1,839 人	(延べ)	2,240 人	(延べ)	2,640 人	(延べ)	3,040 人	(延べ)	3,440 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) (1)補助採択団体の内、いくつかの団体は、まちづくり協議会と連携することで、地域で既に活動している団体を巻き込み、事業を実施することができた。 (2)開館から3年を経過し、継続的に行われている国際交流協会による集いの広場やオープン日本語教室などを展開するとともに、活動コーディネーターによる利用者MTによって、市民ニーズを引き出しを行い、新たな施設の利活用者（担い手）を発掘しながら指定管理者及びリモテラス運営協議会によるコンスタントな活動を促進させる運営を行った。			
------	---------	--	--	--	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) (1)令和5年度末に要綱を改正し、協働の対象を市民活動団体のみならず、事業者、学校も加え、多様な主体による協働事業を推進することとした。 (2)よりつながりづくりができる場の提供策として、大規模なイベント事業を積極的に行うのではなく、コンスタントに利用者や活用者が参加できるような運営を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) (1)コロナ禍を脱却し、地域活動が活性化する中で、新たな市民活動を始めるきっかけ作りを提供できる制度となっている。 (2)利用者の知見やノウハウを発揮して活動が行えるような機運の醸成を行っている。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) (1)補助金を活用し市民と協働することで、行政の目線では気づけなかった地域課題を解決するきっかけとなっている。また、協働することにより、行政単独で実施するよりも事業規模を拡大することができる。 (2)交流イベントや日常的な市民活動を見たり、活動体験を通じて、新たな活動主体が生まれる機運が醸成されている。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) (1)本補助金で始まった市民活動が継続的に活動できるように、まちづくりセンターやまちづくり協議会がサポートできる体制作りを行う。 (2)活動をより促進させるため、屋外空間である長久手中央2号公園を一体的に指定管理し、利活用の幅を広げていく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S25	施策名	概ね小学校区単位の行政運営の仕組みづくり		
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課			

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち			
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり			
	法定受託事務の有無	無			
	その他（関係計画、要綱等）	有	長久手市みんなで作るまち条例		
	施策開始の背景、経緯等	少子高齢化、大災害に備え、長久手市みんなで作るまち条例を活用し、市民参加の仕組みづくりを実施する。			

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 概ね小学校区単位の地域で、地域住民自らが当該地域のことを考え、主体的に実行できるよう、地域住民と協議しながら、市民参加の仕組みをつくる。			
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 市民、地域活動団体、市民活動団体、まちづくり協議会等			
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 地域の課題を地域で解決する。			

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	まちづくり協議会設立支援事業								
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標				
		地域の課題を地域自らが動くことで解決していく取組を進めていく。	地域の課題を地域自らが動くことで解決していく取組を進めていく。	地域の課題を地域自らが動くことで解決していく取組を進めていく。	地域の課題を地域自らが動くことで解決していく取組を進めていく。	地域の課題を地域自らが動くことで解決していく取組を進めていく。				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)				
		まちづくり事業交付金	まちづくり事業交付金 14,300千円	まちづくり事業交付金 14,300千円	まちづくり事業交付金 14,300千円	まちづくり事業交付金 14,300千円				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み				
		(延べ) - 人								

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)				
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標				
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)				
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み				
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人				

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和5年度は、西小学校区では、自治会の加入率の低下という課題に対して、協議会が自治会の加入促進の支援を行うためのチラシを作成したり、自治会長会議を行うなどの活動を実施した。市が洞小学校区では、子ども110番の家が児童に周知されていないという課題に対して、小学校、PTA、警察、大学が連携して子ども110番の家ウォークラリーを実施した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 持続可能なまちづくりのため、まちづくり協議会が主催する事業において、参加者から寄付を募り、今後の事業の資金にするなどの取組が行われている。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 市民主体で実施している事業であるため、一足飛びに地域課題の解決へ至るわけではなく、少しずつ着実に事業を進めていく必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 交付金により、行政では行き届かない、地域に必要な事業に対して資金が使われている。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 現在、西、市が洞小学校区にまちづくり組織である、まちづくり協議会が設置されているが、今後も地域の特性に応じたまちづくり組織の立ち上げを支援していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		